


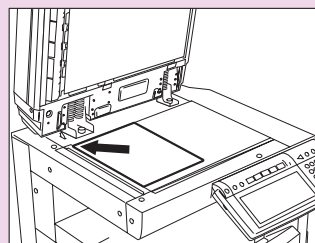
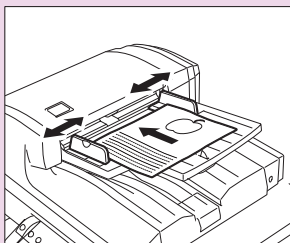
簡単なファクシミリの送り方

1 ファクシミリモードに切替えます

操作パネルの  ボタンを押してファクス機能を選択します

2 原稿をセットします

自動原稿送り装置を利用する場合 (中央合わせ) ガラス面を利用する場合 (左奥コーナー合わせ)



3 宛先を指定します

(a) 番号を入力

操作パネル上のテンキーで相手先のファクシミリ番号を入力します。入力間違いをした場合、操作パネル上の [クリア] ボタンを押すか、アドレス帳画面上の [バックスペース] ボタンを押して、修正します

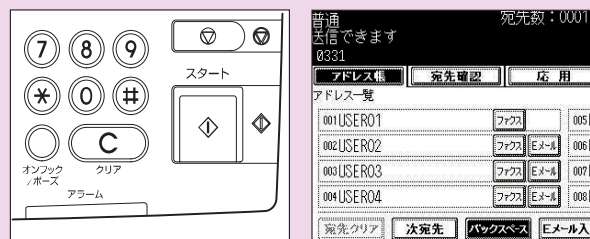
[クリア] 入力中の宛先のクリア
[バックスペース] 入力した直前の1文字のクリア

補足

構内交換機を経由して外線にダイヤルする時、0 発信した後、外線に繋がるまで多少時間がかかるため、送信エラーが発生する場合があります。このような時は、0の後に [オンフック / ポーズ] ボタンを押して、ポーズを入力します。

(b) アドレス帳から入力

宛先名右の [ファクス] ボタンを押します (アドレス帳にEメールのみ登録されている場合は、[ファクス] ボタンは表示されません) 宛先を間違えた場合、もう一度押し、反転表示を解除して、再度指定します。次頁ボタンで画面を切替えて指定することもできます



4 宛先指定終了後、[スタート] ボタンを押します

複数宛先の指定の方法

(A) 個別に指定する場合

- (1) 最初の宛先を入力します
- (2) 次の宛先を入力します

最初の宛先

(1) 宛先をアドレス帳から入力する場合
(a) 宛先名右の [ファクス] ボタンを押して、宛先を反転させます

(2) 宛先を番号入力する場合
(a) ファクシミリ番号を入力します
(b) 画面上的 [次宛先] ボタンを押します

- (3) 下記の流れ図に従って、次以降の宛先を入力します
- (4) 全宛先を指定後、[スタート] ボタンを押します

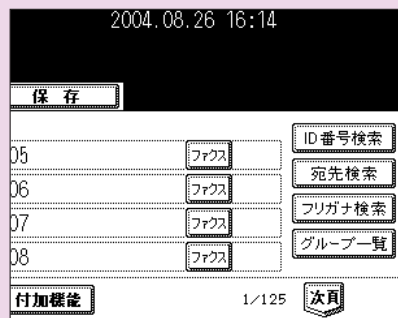
2番目以降の宛先

(1) 次宛先をアドレス帳から入力する場合
(a) 宛先名右の [ファクス] ボタンを押して、宛先を反転させます

(2) 次宛先を番号入力する場合
(a) ファクシミリ番号を入力します
(b) 画面上的 [次宛先] ボタンを押します

(B) グループ登録から指定する場合

- (1) アドレス指定画面の右にある [グループ一覧] ボタンを押します



- (2) 表示されている宛先グループを指定し、[スタート] ボタンを押します



送信条件の設定の方法

送信条件は必要に応じて変更して下さい

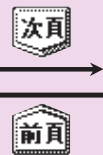
1 送信条件設定画面を出します

アドレス帳画面の [付加機能] ボタンを押します



2 送信条件設定を設定します

解像度 — 送信画像のきめ細かさを設定します
モード — 送信画像の種類を設定します
濃度調整 — 送信画像の濃度を設定します
送信方法 — 送信時のメモリ利用を設定します
原稿サイズ — ガラス面から用紙サイズを指定してファクシミリを送信する場合、変更します



ECM — エラー訂正を設定します (通常はONのまま使用します)
海外指定 — 回線品質の悪い地域へ、通信速度を落として通信します
回線指定 — 回線を増設している場合、回線 (1/2) を選択できます
SUB/SEP — Fコード対応機種とサブアドレスを付加して通信する際に指定します
SID/PWD — インターネット FAX送信時にタイトルと本文を追加します
タイトル/本文



3 設定ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります

送信条件設定の注意事項

- 各宛先のワンタッチボタンごとに送信条件を登録できません
- 複数宛先を指定した場合は、宛先ごとの送信条件は反映されません。手動で変更してください
- 解像度設定は、受信局側が同じ解像度に対応している必要があります
[普通] 200dpi×100dpi
[精細] 200dpi×200dpi
[高精細] 400dpi×400dpi

機能一覧(ファクシミリ)

応用	取扱説明書参照ページ
両面原稿送信	→FAX編 P74
優先送信	→FAX編 P76
ポーリング送信	→FAX編 P77
ポーリング受信	→FAX編 P78
Fコード	→FAX編 P79
Fコードリスト(印刷)	→FAX編 P121
チェーンダイヤル	→FAX編 P93
時刻指定送信	→FAX編 P94
復活送信	→FAX編 P96
手動受信	→FAX編 P57

用語解説

ポーリング

受信側の要求により、送信側の原稿を受信する機能です。送信側は自局に原稿を登録し、受信側から発呼して、データを受信します

Fコード

あらかじめ開設された箱(メールボックス)を使用して原稿の登録取り出しを行います。ただし通信相手先もFコード対応機である必要があります

復活送信

規定回数のリダイヤルをしても原稿を送れなかった時、番号を修正の上、メモリ内のデータから再度送信を行う機能です
事前に、「復活送信の設定」を行う必要があります